

NAGOYA
PROTON
THERAPY
CENTER



名古屋陽子線治療センター

通院がしやすく様々な治療法と組み合わせた 陽子線治療が可能です。

当センターは名古屋の中心部に近く、非常に通院治療しやすい「都市型施設」です。
また、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターの一部門であり、
「病院併設型施設」であることを活かして、抗がん剤や手術など様々な治療法を
組み合わせたがん治療を提供しています。



陽子線
治療センター
紹介動画のQR



ガントリー照射室2



加速器
(シンクロトロン)



ガントリー

ガントリー
照射室1



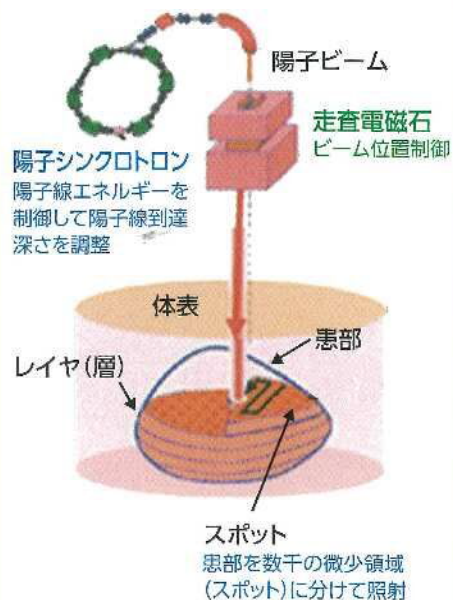
固定照射室



入射器(イオン源・ライナック)

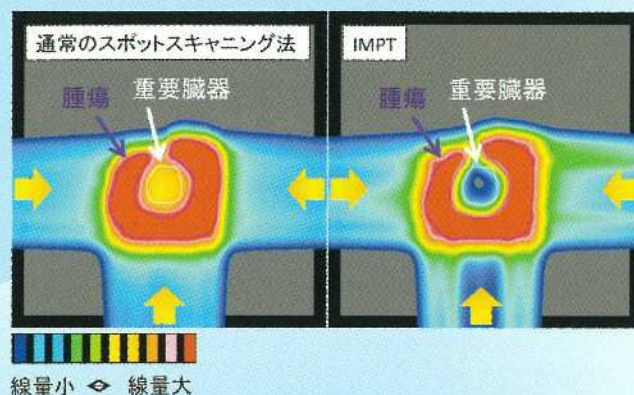
ビーム走査法 (スポットスキニング法)

細いビームを電磁石で走査し、患部
領域内に合致する線量分布を形成し
ます。



▶IMPT(強度変調陽子線治療)の導入

当センターが、日本で初めて治療開始したスポットスキャン法の発展形となる照射法で、2016年6月から臨床使用を開始しました。この照射法は、複雑な腫瘍のかたちに合わせて照射が可能であるため、頭頸部腫瘍や骨軟部腫瘍など、特に腫瘍周辺の重要臓器への線量を下げる必要のある症例にも対応しています。



▶陽子線治療装置

当センターには3つの治療室があり、それぞれ特徴のある照射法の中から、個々の疾患に合わせた最適な照射法を用いて、治療を行う体制を整えています(写真①)。

また、治療室の裏側には、重量200tを超える大型のガントリー(写真②)、直径7m、1周23mの加速器(シンクロトロン)(写真③)が設置されています。こういった大型の装置を駆使して、高精度な治療が行われています。



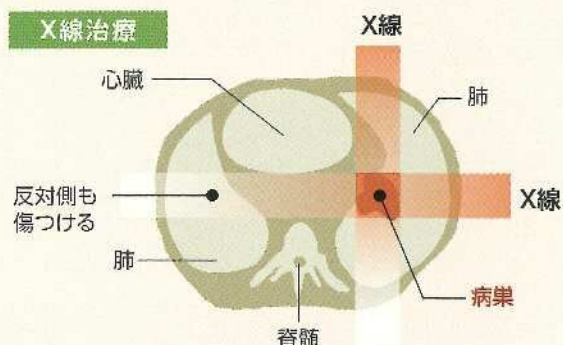
がん治療の選択肢が広がっています

がんの治療には、主に外科療法・放射線療法・化学療法があります。これらの中から、がんの性質、大きさ、病期や全身の状態などに応じて、治療法を選択、または効果的に組み合わせて治療が行われます。

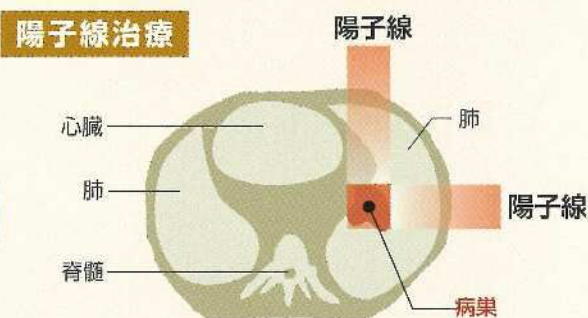
陽子線治療は、特にX線と比べ臓器への被ばくが少なく小児治療の良い適用です。また、難治性がん患者の選択肢を拡大させる治療法として期待されています。



陽子線治療は、放射線を病巣に集中させることができる特性があります



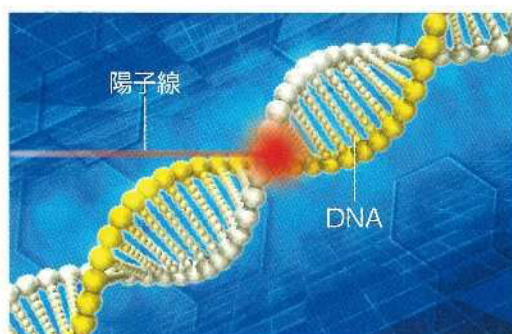
X線は、からだの表面に近いところで放射線が強く、からだの奥に向かうにつれて弱くなりながら、病巣の後ろも止まらずに突き抜けていきます。



陽子線は、ある深さにおいて、放射線量がピークになる特性を持っており、病巣の後ろで止まります。このピークの深さを病巣に合わせることで、放射線を病巣に集中することができ、正常組織への影響を低く抑えることが期待されています。

なぜ陽子線でがんは治るの？

放射線の一種である陽子線が体内に照射されると、細胞の設計図であるDNAに傷をつけます。陽子線によりDNAに損傷を受けたがん細胞は、そのまま死滅して増殖ができなくなります。陽子線治療は、この性質を利用して、周辺の正常組織へのダメージを抑えながら、がん細胞を死滅させていく治療法です。



Q&A

Q 入院は必要ですか？

陽子線治療は、通院治療が可能な治療法です。ただし患者さんの状態や、治療内容により入院をしていただくことがあります。

**Q 治療はどのくらいの日数がかかりますか？**

陽子線治療は、月曜日～金曜日の週5日間、毎日通っていただき治療します。治療の期間は、治療部位によって異なりますが、治療期間の短い患者さんで約2週間、長い患者さんで約2ヶ月間かかります。

Q 治療にはどのような痛みや副作用の可能性ありますか？

陽子線の照射で痛みを感じることはありません。起こり得る副作用は、例えば、皮膚に炎症を起こし、一時的にヒリヒリとして熱感を生じることなどがありますが、照射部位によって異なるため、事前に十分な説明を行います。

Q 一回の治療時間はどのくらいですか？

実際に照射する時間は1～2分ですが、身体の位置をミリ単位で調整するため、15～30分かかります。

**Q 今までの治療実績はどうなってますか？**

当センターホームページ、もしくはQRコードからご参照ください。



治療実績のQR

Q どんながんでも治療できますか？

すべてのがんが陽子線の治療適応(対象)となるわけではありません。また、対象疾患でも陽子線治療が適応と判断されない場合があります。詳しくは、主治医、または当センターのセカンドオピニオン外来にてご相談ください。



適応部位のQR

Q 治療後の診察方法はどのようになりますか？

紹介元の先生へ定期受診をしていただきます。また、当センターから、陽子線治療の専門家という立場で、患者さん本人や紹介医の先生に経過の確認をさせていただきます。

Q 治療を受けるのに年齢制限はありますか？

ありません。陽子線治療が可能かどうかの判定は、個々の患者さんの検査結果やお体の状態により、医師が総合的に判断します。

Q 治療費はいくらがかかりますか？**▼保険診療の場合**

保険適用されている部位や医療費の一部負担(自己負担)割合により陽子線治療料が異なります。また、高額療養費制度など自己負担額を軽減する制度も設けられています。

▼先進医療の場合

陽子線治療料288万3,000円は患者さんの全額自己負担となりますが、それ以外の診療や検査、投薬などについては健康保険の対象となりますので、患者さんの自己負担は1～3割となります。



治療費のQR

陽子線治療までの流れ



主治医（地域連携室）もしくは患者・家族から

セカンドオピニオン外来予約

西部医療センター
地域医療連携センター

☐ 診療申込書
(セカンドオピニオン申込書)

☐ 診療情報提供書

主治医（地域連携室）の場合

FAXのみ受付

FAX. **052-856-0049**

患者・家族の場合

郵送または持参のみ受付

※セカンドオピニオン説明書をよくお読み頂いた上でお申し込みください。



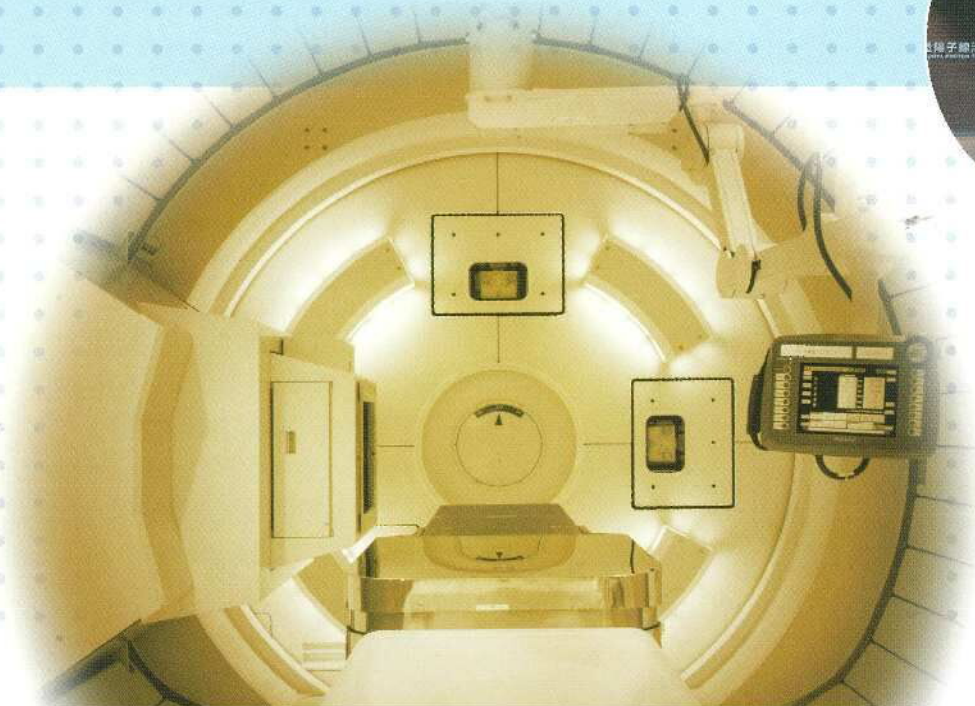
セカンドオピニオン説明書のQR

診察日・相談実施日をご連絡

ご注意ください

- 組織標本・検査結果
- 画像診断資料（CD-Rなど）

名古屋陽子線治療センターで診察・相談
(お申し込みから1週間〜10日程度)





キャンサーボード
(医師及び医療スタッフによる治療方針の検討)

治療準備
(おおよそ1週間～2週間)

固定具作成

CT撮影

治療計画作成



陽子線治療
(おおよそ2週間～8週間)

主治医・経過観察

|| お問い合わせ先 ||

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター



052-991-8121 (代表)

- ▶ 受診手続きについては…
西部医療センター地域医療連携センター
- ▶ 主治医の先生からのご相談については…
名古屋陽子線治療センター 陽子線治療科



交通のご案内



自動車でご来院の方

- 東名高速道路** 名古屋ICから東名阪自動車道に乗り換え
梅JCTから名古屋高速に乗り換え「黒川」出口下車
- 名神高速道路** 小牧ICから名古屋高速に乗り換え「黒川」出口下車一宮ICから
名古屋高速に乗り換え「烏見町」出口下車
- 中央自動車道** 小牧JCTから名神高速道路に乗り換え
小牧ICから名古屋高速に乗り換え「黒川」出口下車
- 東名阪自動車道** 梅JCTから名古屋高速に乗り換え
「黒川」出口下車名古屋西JCTから名古屋高速に乗り換え「庄内通」出口下車

公共交通機関でご来院の方

名古屋	市バス 名駅15 西部医療センター行き(浄心・黒川経由) 約40分
	タクシー 約15分
金山	地下鉄東山線 約5分
	地下鉄名城線 約8分
黒川	市バス 栄11 如意車庫前行き/平田住宅行き※1 約25分
	市バス 栄11 如意車庫前行き/平田住宅行き※1 約10分
栄	市バス 幹栄1 西部医療センター行き 約10分
	市バス 名駅15 西部医療センター行き 約10分
名城公園	市バス 北巡回 西部医療センター行き 約10分
	地下鉄名城線 約6分

名古屋陽子線治療センター
(名古屋市立大学医学部附属西部医療センター)

※1/栄11:時間帯により西部医療センター内に乗り入れない場合がございます。その場合は「志賀公園前」にて下車してください(徒歩約2分)。
★記載所要時間は目安です。道路状況によって異なる場合がございます。



名古屋陽子線治療センター

〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1 Tel.052-991-8121 (代表)

名古屋陽子線治療センター

検索